

郵報知
錦画第六号

大阪高津七番町栗駒常七伴の
久吉が拾才多から去年竊盜の
科小を徴後六十日蒙りてを慎
ちば土月雇う先の金拾田持
逃し親許知立も立寄りがく
式夜千日前みせ物小屋小居る
傍を如く見れば拾才計の女子卧
たる小色欲を發し無暗と手詰不
おはるとも知年の女子を色バ終
大音を揚げ味声巡査耳不え
駈來し捕せられ後徴役生年不好
耳られ此知年を余村官原茂長
女出て家を出奔し愛を卧耶とせり
明治五年六月の事情

